

第 17 回 日本感性工学会大会

大会テーマ「魅せる感性」

第 17 回日本感性工学会大会を文化学園で開催させていただくことになりました。

文化学園大学は、感性と不可分のファッション分野に特化した教育機関であることから、日本感性工学会には発足時から参画してきました。当時はファッションにおけるクリエイションや着心地等の評価としては、人間の五感による官能評価手法が主流でした。しかし“官能”という表現は別のニュアンスに誤解される傾向があり、学問分野として適当な表現を模索するときこの日本感性工学会が立ち上がりました。言葉の持つ魔力は大きく、この「感性」という言葉によるイメージが放つ「魅力」がこの学会のその後の発展に大きく寄与しているといえます。

今回の大会テーマは「魅せる感性」といたしました。日本感性工学会ではこれまで哲学、教育、心理、芸術、政治、経済、経営、社会などの人文・社会科学系から、医学、生理学、化学、材料、機械、情報、システムなどの自然科学系まで多様な視点から、感性をテーマとした活動が行われて、多くの業績が積み重ねられました。グローバル化が叫ばれている折、日本の様々なモノとコトが海外に評価されてきています、日本人に育まれてきた繊細な美意識としてある「感性」をどう「魅せる」かについての議論が必要とされています。また日本感性工学会は、従来の人文科学・社会科学・自然科学と言った枠にとらわれることなく、幅広い学問領域を融合して、感性工学という新しい科学技術を立ち上げ、展開しています。この基本に立ち返った視点からの交流も歓迎します。そして従来の学会に違和感を持たれている方はこの機会に是非のぞきに来て下さい。そしてじっくりする研究会がなかったら是非自ら研究会を立ち上げて下さい。この学会はとても分野が広くかつ懐が深いところがミソです。様々な分野の老若男女による異分野交流から新しい視点を見つけていただきたくみなさんの参加を期待しております。

2015年9月

大会実行委員長 池田 和子(文化学園大学)

タイムテーブル(文化学園大学)

9月1日(火)

	S会場	P会場	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	
	A201	B201	C051	A051	A052	A053	A054	A055	A151	A152	A153	
9	総会 表彰式											
10												
11			A1 査読セッション	B1 計測・評価	C1 デザイン	D1 文化・伝統・ 知財						I1 かわいい 人工物 研究部会
12	昼休み											
13			A2 査読セッション	B2 デザイン	C2 視覚/ 脳科学		E2 デザイン& ビジネス 研究部会	F2 感性脳機 能部会	G2 感性商品 研究部会	H2 感性計測 研究部会	I2 而立の会	
14												
15	学長挨拶 【特別講演1】 渋谷駅周辺のアーバンデザインマネジメント ～都市の多様性を構築する手法～ 須藤 憲郎 氏											
16												
17												

9月2日(水)

	S会場	P会場	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	
	A201	B201	C051	A051	A052	A053	A054	A055	A151	A152	A153	
9												
10			A3 査読セッション	B3 計測・評価	C3 デザイン	D3 ファッション/ かわいい	E3 インタラクシ ョン/ 建築・ インテリア	F3 マルチメディア				
11	【特別講演2】 次世代の商業施設事業 安達 覚 氏											
12	昼休み											
13	【特別講演3】 ①ファッションデザインと感性 坂部 三樹郎 氏 ②五感のデザイン-感じるを大切に- 横山 稔 氏 ③デザインセッション「デザインと感性- ファッション×造形-」 福永 成明 氏											
14												
15			A4 査読セッション	B4 査読セッション				E4 ヒューマン デザイン テクノロジー 部会	F4 感性 ロボティクス 部会	G4 感性工学 と新製品 開発部会	H4 感性3.0 感性工学と デザインの 狭間での 今後の展開	I4 感性知識 マネジメント 研究部会
16			ポスターコア1									
17											特別 セッション	
18	懇親会											
19												

9月3日(木)

	S会場 A201	P会場 B201	A会場 C051	B会場 A051	C会場 A052	D会場 A053	E会場 A054	F会場 A055	G会場 A151	H会場 A152	I会場 A153
9											
10			A5 査読セッション	B5 査読セッション	C5 デザイン	D5 コミュニケーション	E5 風土・防災	F5 情報・ソフトウェア	G5 脳・発達・感性	H5 生命ソフトウェア部会	I5 グローバル テキスタイル & モードビジ ネス研究会・ アパレル研 究部会
11											
12	昼休み										
13		ポスターコア2									
14			A6 査読セッション		C6 デザイン	D6 コミュニケーション	E6 空間 ・照明・音 /触覚		G6 志学の会	H6 感性哲学 部会	I5 グローバル テキスタイル & モードビジ ネス研究会・ アパレル研 究部会
15		ワークショップ									
16											

講演時間

- 一般セッション : 15分(講演12分+質疑3分)
- 査読セッション : 20分(講演15分+質疑5分)
- 企画セッション : 各セッションで異なります。座長にお尋ねください。
- ポスターセッション :
 - ・ポスターの掲示可能時間 : 9月1日(火) 9:00 ~ 9月3日(木) 15:00
 - ・ポスターのサイズ : A0サイズ以内
 - ・ポスターコアタイム中、およびその前後30分は必ず掲示してください。
(ポスター評価のため)

会場

S会場 A201

P会場 B201

※P会場は各々企業展示+ポスター展示

A会場 C051

B会場 A051

C会場 A052

D会場 A053

E会場 A054

F会場 A055

G会場 A151

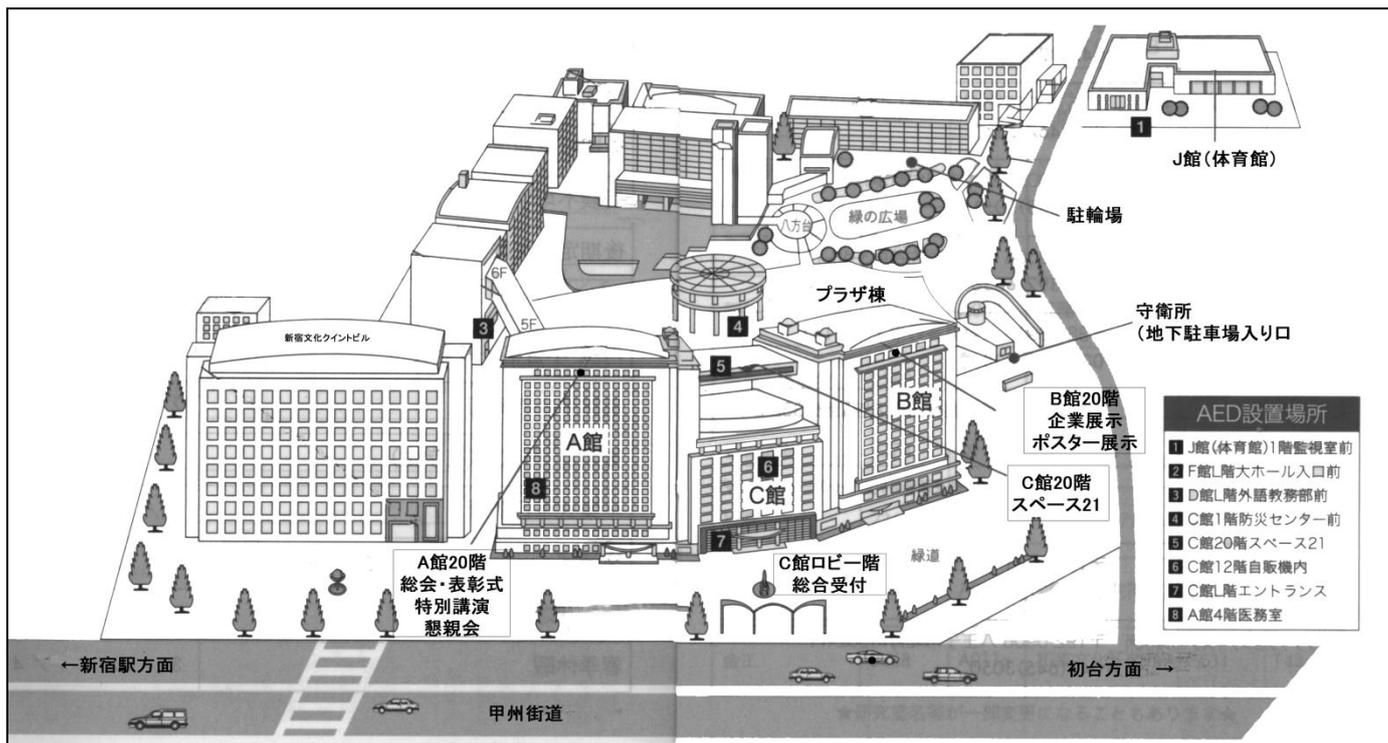
H会場 A152

I会場 A153

一般休憩所 : 12階学生ホール

役員・関係者控室 : A館4階 A044会議室

会場案内図



【会場】

- ・総合受付 : C館ロビー一階 (EV表記:L階)
- ・総会, 表彰 : A館20階 A201講堂 (S会場)
- ・特別講演 : A館20階 A201講堂 (S会場)
- ・懇親会 : A館20階 A201講堂 (S会場)
- ・企業展示 : B館20階 B201講堂 (P会場)
- ・ポスター展示 : B館20階 B201講堂 (P会場)
- ・発表会場 : C館5階 C051 (A会場)
A館5階 A051・052・053・054・055 (B・C・D・E・F会場)
A館15階 A151・152・153 (G・H・I会場)

【注意】

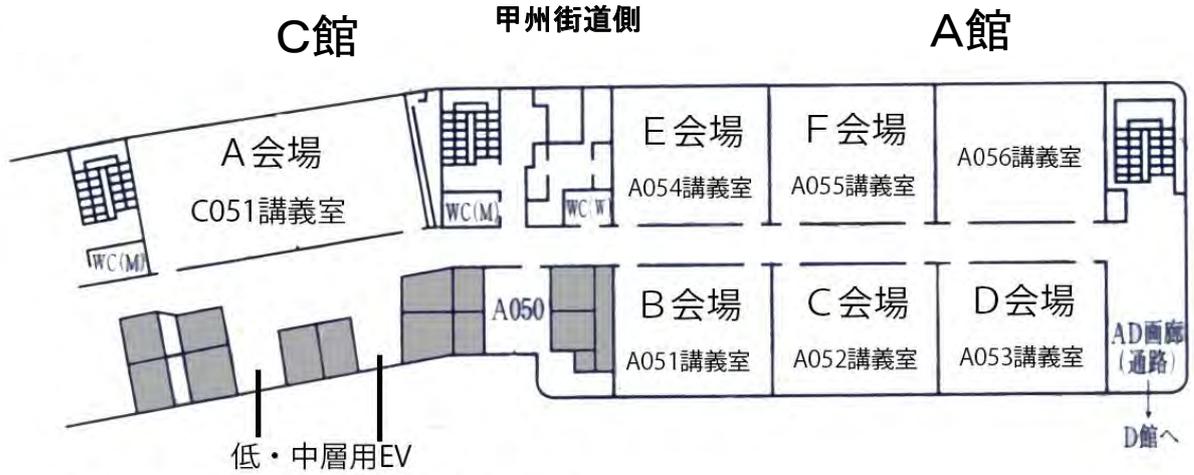
- ・本学は学内全面禁煙です。喫煙は1階(L階下)の学生食堂と中庭の間にあります。
- ・飲料用自動販売機は12階学生ホール、もしくは1階・プラザ棟の間にあります。

【エレベータの注意】

- 低・中層用エレベータ : 地下～11階まで
- 高層用エレベータ : 1階～4階 11階～20階
- ※低・中層用から高層用エレベータの乗り換えは4階・11階になります。

会場案内図

5階(発表会場)

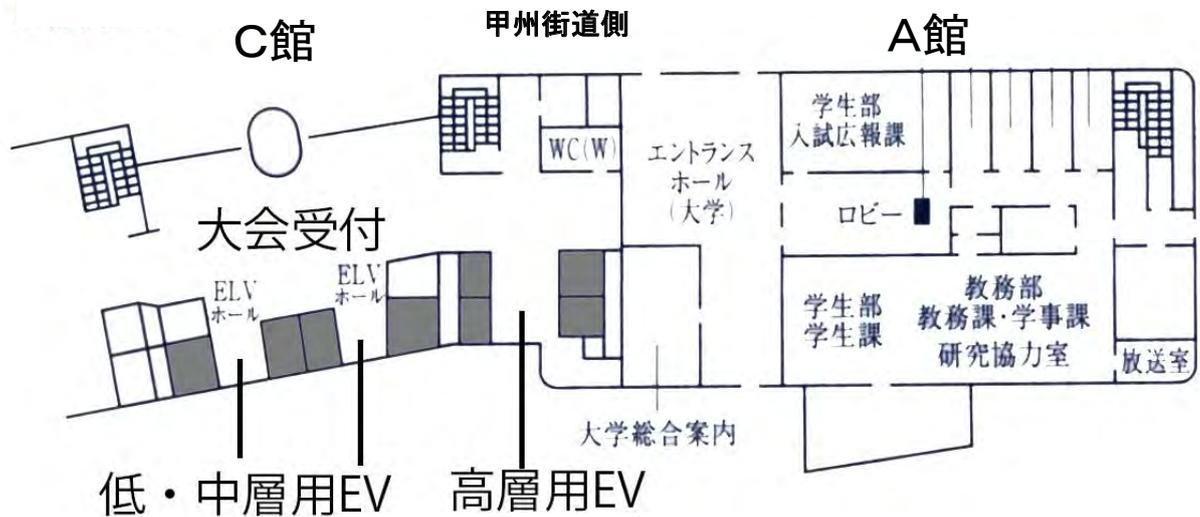


※20階へは11階で高層用EVに乗り換え

4階(役員・関係者控室)



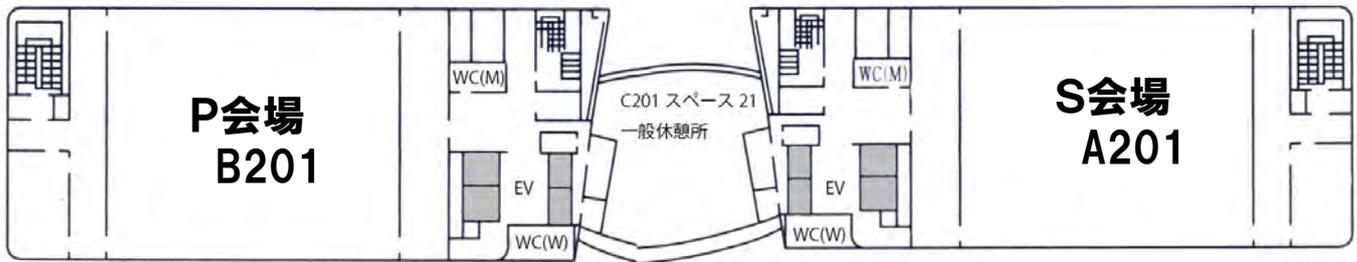
ロビー階(受付)



会場案内図

20階(総会・表彰式・特別講演・懇親会・企業展示・ポスター展示)

甲州街道側
B館 C館 A館



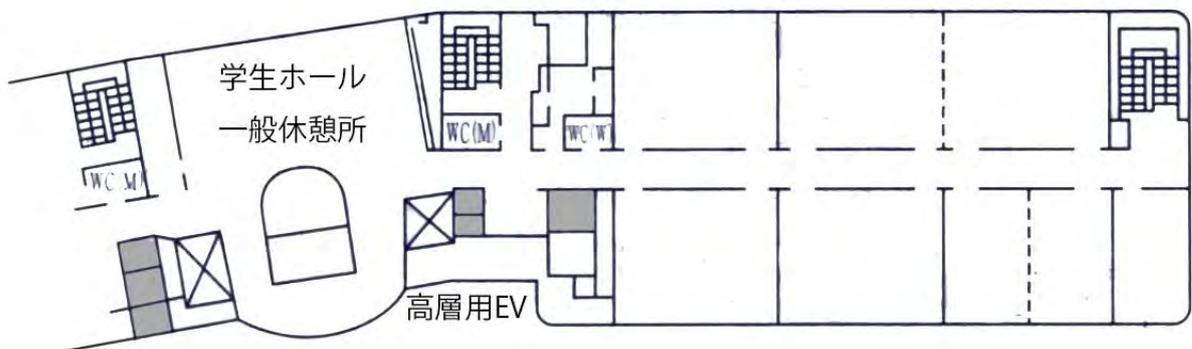
15階(発表会場)

甲州街道側 A館



12階(一般休憩所・飲料用自動販売機設置)

C館 甲州街道側 A館



講演プログラム

■ 目次

特別講演	p. 8
ワークショップ	p. 14
査読セッション	p. 15
一般セッション	p. 19
企画セッション	p. 26
特別セッション	p. 32
ポスターセッション	p. 33
企業展示	p. 39

■ 総会・表彰式

9月1日（火） 9:00～9:30 総会 9:30～10:00 表彰式
S会場（A館20階A201講堂）

■ 懇親会

9月2日（水） 18:00～20:00 S会場（A館20階A201講堂）

開催校挨拶 文化学園大学学長 大沼 淳氏

演題： 「渋谷駅周辺のアーバンデザインマネジメント
～都市の多様性を構築する手法～」

須藤 憲郎 氏

渋谷区渋谷駅周辺整備担当部長



■ 講演の概要

渋谷駅は、地上3階の地下鉄銀座線や地上2階のJR山手線、地下5階相当の東急東横線など、4社8線の鉄道路線が結節すると共に、都内最大級のバスターミナルを持つ国内有数の公共交通ターミナルである。

しかし、戦前から逐次整備された鉄道施設と民間商業施設が、限られたエリアで立体的に集積した結果、乗換え動線が複雑でわかりにくい駅となっている。

また、東日本大震災時の帰宅困難者の集中など、駅施設の老朽化対策と共に安全性や快適性の確保に課題がある。

一方、国内外からの観光客が一度は訪れる世界一有名なスクランブル交差点とハチ公像やモヤイ像、また、谷地形とY字路が演出する多くのランドマーク、IT、ファッション、音楽、演劇、ミュージカルなど渋谷らしい観光資源を活かし、さらにまちを強化していくにはどうするのか。

こうした課題を解決するため、周辺の複数開発と連携し、交通結節機能を強化する計画を進め、現在、世界一？複雑なスキームにより事業中である。

事業化にあたっては、渋谷らしいアクティビティ満ちあふれる景観をさらに強化するため、複数事業の進捗に合わせ、公共と民間の相互のデザイン調整を進めてきた。こうした調整を含め、将来のエリアマネジメントを見据えた社会実験など、広義のアーバンデザインマネジメントの取組みについて説明する。

■ プロフィール

昭和52年(1977年) 中央大学土木工学科卒

同年、渋谷区入区

土木部道路課長、都市整備部地域まちづくり課長などを経て、平成25年(2013年)より現職、

渋谷駅周辺整備担当部長

演題： 「次世代の商業施設事業」

安達 覚 氏

三井不動産株式会社 商業施設本部 上席主幹



■ 講演の概要

日本の人口動態が大きく変わる中、商業施設においても次世代への対応が喫緊の課題となっています。

今回のセミナーでは、時代と共に地位の特性を活かした魅力的な商業施設を生み出してきました三井不動産の最近の商業施設の開発事例を紹介すると共に、次世代商業施設事業の方向について解説します。

・ 講義項目

1. 日本の商業の概況
2. 三井不動産の商業施設 5W1H
(カテゴリー・立地・ターゲット・コンセプト・顧客・マーケティング)
3. 物件例
 - (1)ラゾーナ川崎
 - (2)アーバンドッグららぽーと豊洲
 - (3)ららぽーと柏の葉
 - (4)ららぽーと横浜
 - (5)ららぽーと新三郎
 - (6)三井アウトレットパーク (木更津小矢部)
 - (7)都心商業 (東京ミッドタウン・銀座・日本橋)
 - (8)ダイバーシティ東京
4. マーケティング戦略
5. 次世代のSC (テーマ・エリア)
6. 海外のSC事例
7. 新しいビジネスモデルの創出
8. 関連質疑応答

■ プロフィール

- 1956年、 群馬県生まれ、
- 78年 慶應義塾大学経済学部卒業 三井不動産(株)入社
- 90年～97年 関西支社商業施設事業課長、(日本で最初の本格的アウトレットモール「ブロッサム」の開発・運営、スヌーピータウン事業の開発・運営)
- 97年～02年 商業施設事業本部スヌーピータウン室長
- 02年～04年 横浜支店次長、業務施設事業室長(ビル・商業の開発・運営)
- 04年～07年 商業施設本部リージョナル事業部事業推進グループ長(ららぽーと豊洲、キッザニア、ららぽーと横浜の開発)07年4月より 現職

演題： 「ファッションデザインと感性」

坂部 三樹郎 氏

MIKIO SAKABE デザイナー



■講演の概要

アパレル産業といわれる業界が、近年ではどんどんシステムとして崩壊してきています。

雑誌メディアは売れず、百貨店セレクトショップも伸びず、学校もどんどん時代に取り残されて学生が集まらなくなっています。

デザイナーもブランドとしてやっていくのは難しい時代です。

すべての歯車があわなくなり、このままではファッション自体が縮小していつてしまいそうです。

そんななか、ファッションをアパレル産業というフレームだけで捉えるのではなく、もっと、生命とファッションの関係性から本質的なところを紐解いていく。

今そして未来の新しい形でのファッションとの付き合い方をシステムから考えていくことで、新たな時代の可能性を考える。

■プロフィール

坂部 三樹郎/1976年3月19日生

2006年アントワープ王立芸術アカデミーファッション科マスターコース首席卒業。
'07-'08 A/W コレクションをパリコレクションにプレゼンテーションという形で公式参加。

'08 S/S コレクションから東京とパリを軸にミラノ、ニューヨーク、バルセロナなど様々な都市で発表。

2011年 S/S 代々木体育館で現代アーティスト Chim↑pom とコラボレーションショーを発表。

2011年 A/W TUTAYA 六本木でコレクションと秋葉原アイドルでんぱ組 inc のライブを混じえたショーを発表。

2012年 A/W ベルサール渋谷ファーストで行なったショーでは初のメンズコレクションを発表、東京から世界に発信できるあたらしいジェンダーを提案。

2013年 A/W ベルサール渋谷ファーストでショーを発表。前回に引き続き新しいジェンダーを提案。

2014年 S/S 渋谷パルコにてプロデュースするイベントの『絶命展』でファッションショーを行う。

次世代の人間像を提案していくなかで服を作るというだけではない、時代としての、そしてエモーションとしてのファッションを提案。

演題： 「五感のデザイン -感じるをカタチに-」

横山 稔 氏

文化学園大学造形学部 建築・インテリア学科 教授、
修士 (NATURAL SCIENCE)、インテリアデザイナー



■ 講演の概要

「五感のデザイン」というテーマで、約20年間にわたり日米の大学でデザイン系や建築、インテリア系の学生に教えてきた。五感を刺激する一連の、特に空間系に関わるデザイン演習を体系的なシステムにまとめたものが、2013年に彰国社から「五感のデザインワークブック 「感じるをカタチにする」として出版され、同年のグッドデザイン賞 2013を教育のシステムとして受賞した。デザインに必要な感性には体験力・直感力・創造力・イメージ力などがある。本書では全身を通じ、そのカタチの無い感覚的なものをカタチに出来る力をつける演習内容になっている。テレビやインターネット、スマートフォン等さえあれば、人間同士のフェイスツーフェイスのコミュニケーションがなくても過ごせる日常生活。人工物に囲まれ、徐々に失われていく身体感覚とリアルな経験。デザインの魅力は、形だけでは生み出せないそういったリアルな感覚の経験値の集積から生まれる。この本は、五感を様々な角度から刺激する12の演習課題に取り組むことで、空間に関わるデザインに五感でアプローチするトレーニングブックである。例えば、指先の記憶を呼び覚ます触覚(砂絵)スケッチや、耳で空間のイメージを想像し描く聴想空間や、相手に空間イメージを伝える口伝空間などの演習を通して、遊び感覚で感性やデザインセンスを養い、五感を通じて全身でココロからの幸せを感じられる様なデザインをできる力を育成する教育メソッドを目指している。読者が気にもとめなかった日常のささいな出来事や生活空間を、五感を研ぎ澄ませて臨むそういった12種類の演習を通じて、新たな発見を楽しみ、好奇心を持ってデザイン制作、活動の素地を養える様、工夫した。また近年、幅広い領域で求められている独創性やクリエイティブマインド、デザインをネットワークする力も意識して、この教育システムをデザインした。この五感のデザイン教育システムを通して、身体と日常生活や生活空間との関係の大切さ、五感で気配を感じることを改めて意識し、全身で幸せと喜びを感じられるモノやコト、空間などが生み出される感性の扉を開くトリガーになることを期待している。

本講演では、この本の内容や、この本をテキストにして教育を行っている現場の様子、また「五感のデザイン」のメソッドを用いてデザインした実例等を講演する予定。

■ プロフィール

東京生まれ

日本大学理工学部建築学科卒業

米国ニューヨークプラット大学大学院インテリアデザイン学科修士課程修了

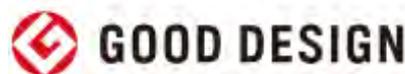
Gensler and Associates Architects, サンフランシスコ事務所でインターン。日本大学理工学部建築学科卒業後、日建設計インテリア部（東京本社）に入社。

独立後、A to Z デザイン事務所設立、米国ニューヨークプラット大学大学院インテリアデザイン学科修士課程を修了し、アリゾナ州立大学デザイン学部インテリアデザイン学科助教授となる。事務所をコンチェルティーノに改称。

1998 年にアメリカのインテリアデザイン協会より日米のデザイン教育の架け橋となり、また長年シカゴ本部の理事を務めた功績などにより、フェローの称号を得る。日本では、武蔵野美術大学短期大学部空間演出学科、造形学部空間演出デザイン学科の非常勤講師を経て、静岡文化芸術大学デザイン学部空間演出学科准教授、現在は文化学園大学造形学部 建築・インテリア学科 教授。静岡県知事の依頼で静岡富士山空港の魅力を高めるイメージコンサルタントも務めた。

主な研究分野は、五感のデザイン、婚礼のデザイン、木造建築継手家具、オフィスデザインなど

インテリア空間作品の代表作に、Meiho Facility Works とのコラボレーションでデザインコンセプト・企画した六本木ヒルズ YAHOO JAPAN!、汐留ソフトバンクテレコム株式会社 他がある。家具作品はフランスのデザインビエンナーレやアメリカの O.C.C. Fine Arts Gallery、日本の Gallery le bain、ギンザコマツアートスペースなどで発表。国立民族学博物館でもパーマネントコレクションに選定された。また継ぎ手の技術を応用したウェディングリング awaseru で、ドイツのプロダクトデザイン賞 2014iF design award を受賞。また長年研究し、五感とデザインの関係性に着目した教授法をまとめた「五感のデザインワークブック、彰国社」で 2013 年度グッドデザイン賞（教育方法）を受賞。また、Interior and Sources magazine(表紙), Interior Design, 新建築等、国内外の多数の代表的な建築・インテリアデザインの雑誌や本に作品が掲載されている。



演題： デザインセッション「デザインと感性 –ファッション×造形–」

パネラー： 坂部 三樹郎氏 × 横山 稔氏

コーディネーター： 福永 成明 氏

((有) ファッションリンクス 代表取締役社長)

■ プロフィール

1947年 東京生まれ。日本繊維新聞で流通・アパレルを担当。退社後、フリーランスライターとして「週刊ダイヤモンド」「実業の日本」等に執筆。繊維産業構造改善事業協会（現中小企業基盤整備機構）の人材育成専門委員、JETROの対日輸出促進セミナーを中国各地で講演、JICAのODA「ウルグアイ東方共和国のアパレル振興計画」に参画、中小企業事業団（当時）の繊維産地振興計画（富士吉田、浜松）の委員を歴任。「gap japan」編集長、「男子専科」編集長を経て、日本アパレルソーイング工業組合連合会の業務改革委員会委員長、日本アパレル産業協会顧問の後、繊維ファッション産学協議会研究委員、学校法人評議員、ファッションビジネス学会理事。著書に「アパレル業界」（共著＝教育者）、「ファッション業界がわかる本」（共著＝ダイヤモンド）。



バネを自由自在に組み合わせることを可能にする五光発條株式会社(横浜市瀬谷区)の特許技術“バネ連結コネクタ”を活用したワークショップを開催します。

「日本の町工場を元気にする」=異なるスキルと町工場の技術力とのコ・クリエイション(共創)でワクワクするものづくりをコンセプトに活動する JUMP UP JAPAN と五光発條との共同プロジェクトの内容展示と、メンバーによるプロジェクト解説や実際にバネを組み立てるワークショップの開催です。

(<http://www.splinks.jp/> <http://www.jumpupjapan.jp/>)

■五光発條株式会社 代表取締役社長 村井秀敏

五光発條が得意とするのは直径2ミリ以下の精密なバネを作ることです。幼少の頃からバネに囲まれ、身近にあるバネで遊んできました。私にとってバネは、触ると気持ちいいモノです。いつか「触れるバネに価値を持たせたい」と思うようになりました。2008年のリーマンショック以降、景気低迷から脱却するために、「バネに価値を持たせる」商品開発を目指すようになりました。社員から隠れるように社長室にこもり、商品開発を行っていた時期もありました。その成果の一つがスプリングです。

そして2014年、西村さん、志喜屋さんとの出会いで、スプリング・ジュエリーを手掛けるようになり、社員の賛同も徐々に得るようになりました。

今では海外工場から、「美しいスプリング・ジュエリーの写真を社員と共有したい」と要望を受けるほど。社内でのプロジェクトの存在感が増しています。現在では専任者を置き、クリエイターから寄せられる難題に、試行錯誤を繰り返しています。

「機器内部の裏方に終始していたバネとバネ工場を表舞台に立たせたい!」と、幼少からの夢を実現させるため、日々奮闘しています。

(<http://www.goko-spring.co.jp/>)

■ JUMP UP JAPAN メンバー

https://www.facebook.com/jumpupjapan?ref=aymt_homepage_panel)

「日本の町工場を元気にする」がコンセプト。

異なるスキルと町工場の技術力とのコ・クリエイション(共創)でワクワクするものづくりムーブメントを起こすプロジェクト。

○西村拓紀 西村拓紀デザイン株式会社 代表取締役 <http://www.hndi.co.jp/>
デザインコンサルタント/元パナソニック(株)プロダクトデザイナー

中小企業の独自技術を活かした商品開発をサポート。プロダクトデザイン~グラフィックデザイン~WEBデザインとビジネスに必要なクリエイションをトータルサポートする。

○志喜屋徹 造形アーティスト <http://www.akirashikiya.com>

<http://gallerylara.com/>

http://www.2025.jp/art/exbition_02.html

大手広告会社アートディレクター。世の中の人にモノゴトをどう伝えるか」を考え、表現するが、実はそれは仮の姿。今までになかった価値を、昔からある身近なもので紡ぎだす「位相転換」の造形アーティストとして、六本木や横浜、香港、シンガポール、ロサンゼルスなどで展覧会への出品や表現活動を行う。